



泌尿器科



スタッフ紹介

医師名【役職】	出身大学/取得年	専門分野	資格等
たまだ さとし 玉田 聡 【部長】	 大阪市立大学 1997年	尿路悪性腫瘍 (腎、膀胱、前立腺癌)の手術および薬物療法 ロボット手術 腹腔鏡手術	日本泌尿器科学会: 専門医・指導医 日本泌尿器内視鏡学会: 腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会: 腹腔鏡技術認定医 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 ロボット支援手術プロクター(腎・膀胱・前立腺) 日本ロボット外科学会 国内A級ライセンス ダヴィンチサージカルシステム認定医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 腎癌研究会 学術評議員 泌尿器漢方研究会 幹事 身体障害者指定医(膀胱・直腸機能障害、腎機能障害) 医学博士 厚生労働省 緩和ケア研修 修了
ごいしゅん 呉 偉俊 【人工透析センター部長】	 愛媛大学 1997年	泌尿器科全般 血液透析療法	日本泌尿器科学会: 指導医・専門医 日本泌尿器内視鏡学会: 腹腔鏡技術認定医 ダヴィンチサージカルシステム認定医 日本透析医学会: 専門医 医学博士 厚生労働省 緩和ケア研修 修了



スタッフ紹介

医師名【役職】	出身大学/取得年	専門分野	資格等
こうやま ゆうき 香山 侑弘 【医長】	 大阪市立大学 2009年		日本泌尿器科学会: 指導医・専門医 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会: 泌尿器科腹腔鏡技術認定医 ダヴィンチサージカルシステム認定医 日本透析医学会: 専門医 厚生労働省 緩和ケア研修 修了
わだ くにひろ 和田 邦宏 【医員】	 近畿大学 2021年		
よしだ ゆうき 吉田 裕貴 【医員】	 大阪医科大学 2021年		



がん診療

大阪府がん診療拠点病院として、腎・尿管・膀胱・前立腺・精巣・後腹膜に発生するすべての悪性疾患の手術に対応しています。

特にロボット支援手術に関してはすべての臓器に保険適応が認められており、当院でもほぼすべての手術をロボット支援下で行っています。

2023年6月よりダヴィンチXiが2台体制となり、手術待機期間が短縮されています。



2台体制で行っています



腎がん・腎盂尿管がん

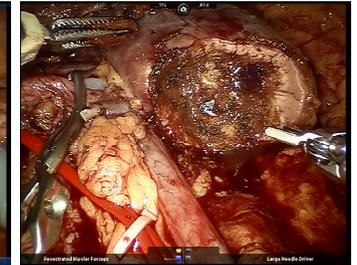
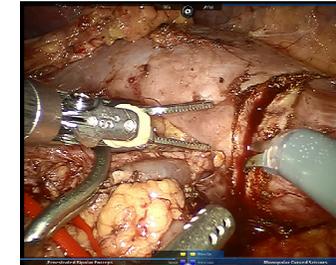
- 腎がんは、多くは検診で発見されます。
エコーで腎臓に少しでも疑わしい病変があれば、すぐに紹介していただければ精査させていただきます。
- 早期であればロボット支援腎部分切除を行い、腎機能を温存できます。部分切除不可能な症例に関してはロボット支援腎摘除術を行います。
- 転移性腎がんに関しても、長年培ってきた経験をもとに最新の治療を導入しております(業績はホームページ内に記載しております)。
- 腎盂尿管がんは血尿を主訴に発見されますので肉眼的血尿を主訴に受診された患者様は早期に紹介いただければ精査させていただきます。
- 手術可能症例に対してはロボット支援腎尿管全摘除術を行います。
- 転移性腎盂尿管がんに対しては、抗がん剤治療、免疫治療を行い、適切に治療しております。



腎がん・腎盂尿管がん

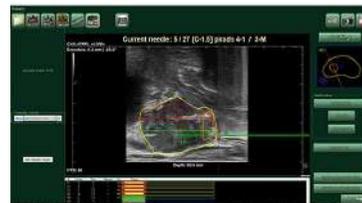
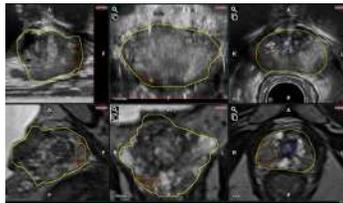
2020年よりロボット支援腎部分切除を導入し、現在まで50例に施行しております。

根治的腎摘除術、腎尿管全摘除術に関しても2022年より腹腔鏡に変わり、ロボット支援手術を行っております。



前立腺がん

- 前立腺がんはPSA測定によりスクリーニング可能で早期の発見が重要です。80歳までの患者様には1年に一度のPSA測定をおすすめいたします。PSA高値を認めた際には、ご紹介いただければ精査させていただきます。
- 生検の精度を上げるため、MRI画像とエコー画像をリアルタイムで融合させて生検を行うMRI/US fusion biopsyを導入しました。その際は腰椎麻酔で生検を行います。



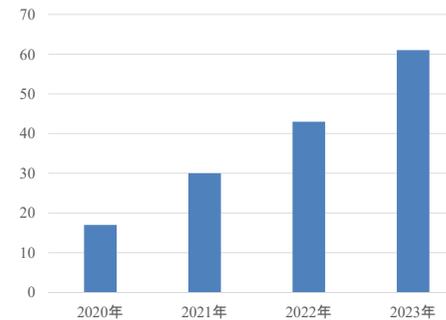
- 前立腺がんが見つかった場合、80歳までの患者様は摘出をおすすめしています。2019年よりロボット支援手術を開始し、現在まで200例以上の症例に対して手術を行ってまいりました。手術時間も通常2時間程度と短く合併症も少ない安全な手術に変わってきており安心して受けていただくことが可能です。
- 転移性前立腺がんに関しては、最新の薬物治療を導入しています。最大の効果を発揮できるように、薬物療法を複数組み合わせる治療をしています。



前立腺がん

ロボット手術に関しては、日本ロボット外科学会の国内A級ライセンスと日本泌尿器内視鏡学会認定プロクター(他施設を指導できる資格)を持つ玉田が責任を持って監督し行います。国内A級ライセンスを取得している泌尿器科医は全国でも50人弱しかいません。

ロボット支援前立腺全摘術



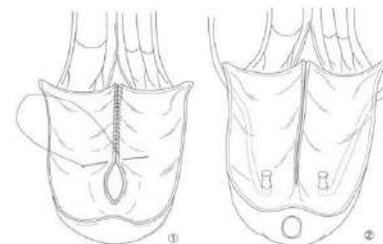
この手術は通常、頭低位で行いますが、緑内障や脳血管障害を持つ患者様には頭低位にすることが禁忌でした。当院ではこのような患者様でも手術できるように後腹膜アプローチによる手術も行っており、安全に施行可能な体制をとっています。

膀胱がん

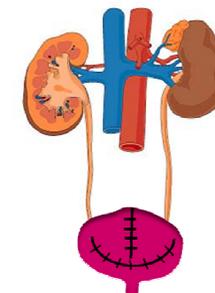
- 膀胱がんの多くは肉眼的血尿を主訴に受診されます。しかし血尿を認めない症例もあり、**腹部エコーを実施の際は、膀胱も観察されることをおすすめしております。**
- 筋層非浸潤性膀胱がんは内視鏡的切除で完治しますが再発の可能性も高いので、当院もしくは近隣の泌尿器科開業医の先生にフォローをお願いしております。
- 筋層浸潤性膀胱がんは内視鏡的切除では根治が困難ですので、術前抗がん剤治療を施行後に、膀胱全摘、尿路変向術を行います。当院では、ロボット支援膀胱全摘を2021年より導入しており、手術時間の短縮、出血量の減少、術後早期の回復が得られています。
- 転移性膀胱がんに対しては、抗がん剤治療、免疫治療を行い、適切に治療しております。

膀胱がん

- 膀胱全摘除術は2021年よりロボット支援手術を導入し、現在までに30例施行しております。
- 尿路変向の方法には尿管皮膚瘻、回腸導管、代用膀胱造設の3種類があります。
- 当院では可能な症例においては、代用膀胱造設を行っております。
- 腸で膀胱を形成し、自己尿道と吻合しますのでストーマがなく、自排尿も可能となりますので、患者様にとってはQOLの高い術式です。



回腸を用いて袋状の代用膀胱を作成します



回腸利用新膀胱造設術

尿路結石・前立腺肥大症

- 尿路結石に関する手術も積極的に行っております。体外衝撃波治療に関してはガイドライン上でも推奨されなくなっており、現在は全例、経尿道的レーザー碎石術を行っています。
- 結石などによる閉塞性腎盂腎炎を発症してる場合は、すぐに尿管ステントを留置いたしますので直接ご相談ください。
- 前立腺肥大症に対してはできるだけ御開業の先生に治療をお願いしたいと考えております。内服方針決定後、継続処方をお願いする場合がございます。
- 外科的治療については、従来は経尿道的前立腺切除を行ってきましたが、**より低侵襲なウロリフトを使用した手術を開始いたしました。今までは年齢や合併症、入院期間などの問題で手術をためらっておられた患者様でも、短期間に、安全な治療法ですので、ぜひご紹介ください。**



2023年の主な検査と手術

腎・尿管手術

	2023年
根治的腎癌摘出術（ロボット）	9
根治的腎癌摘出術（腹腔鏡下）	1
根治的腎癌摘出術（開腹）	0
単純腎摘除術（腹腔鏡下）	0
単純腎摘除術（開腹）	0
腎尿管癌全摘術（ロボット）	14
腎尿管癌全摘術（腹腔鏡下）	2
腎尿管癌全摘術（開腹）	0
腎癌部分切除術（ロボット、腹腔鏡下）	11
合計	37

副腎・後腹膜手術

	2023年
副腎腫瘍摘出術（腹腔鏡下）	3
後腹膜腫瘍（開腹）	0
後腹膜腫瘍（腹腔鏡下）	0
合計	3

膀胱手術

	2023年
膀胱全摘除術（開腹）	0
膀胱全摘除術（ロボット、腹腔鏡下）	4
経尿道的膀胱腫瘍切除術	128
尿管膀胱吻合術	0
膀胱瘻造設術	3
合計	135

前立腺手術

	2023年
前立腺悪性腫瘍手術（開腹）	0
前立腺悪性腫瘍手術（ロボット）	61
経尿道的前立腺切除術	3
経尿道的前立腺吊上術	17
合計	81



2023年の主な検査と手術

尿道・陰茎・陰のう手術

	2023年
精巣悪性腫瘍手術	1
陰茎癌部分切除術	0
精巣固定術（精巣念転に対する）	1
精巣摘出術	3
包茎手術	4
陰のう水腫根治術	3
精巣上体摘出術	1
合計	13

尿路結石関連手術

	2023年
経皮的腎破石術	0
経尿道的腎尿管結石破砕術	72
経尿道的膀胱結石破砕術	10
体外衝撃波結石破砕術（ESWL）	0
合計	82

透析関連手術

	2023年
シャント造設術	0
動脈表在化術	0
人工血管増設	0
合計	0

生検・その他

	2023年
前立腺生検	144
経皮的腎瘦造設術	1
経尿道的尿管ステント留置術	72
その他	19
合計	236